豆辞典

無料人権相談所

△離婚、財産分与など家庭の紛争、土地の境界商取引の問題など

△基本的人権を守り、あなたの悩みを解消するための法律上の心配ごと相談所。

＝毎月20日＝後免中町公民館＝

THE KŌHŌ NANKOKU 広報ナンコク

編集発行　南国市広報委員会　高知県南国市東崎1335 電2.111　川北印刷KK 電 2379

昭和38年8月15日　第46号　（1）

市の動態

人口 43,235人（男 20,867人　女 22,368人）

世帯数 11,028戸

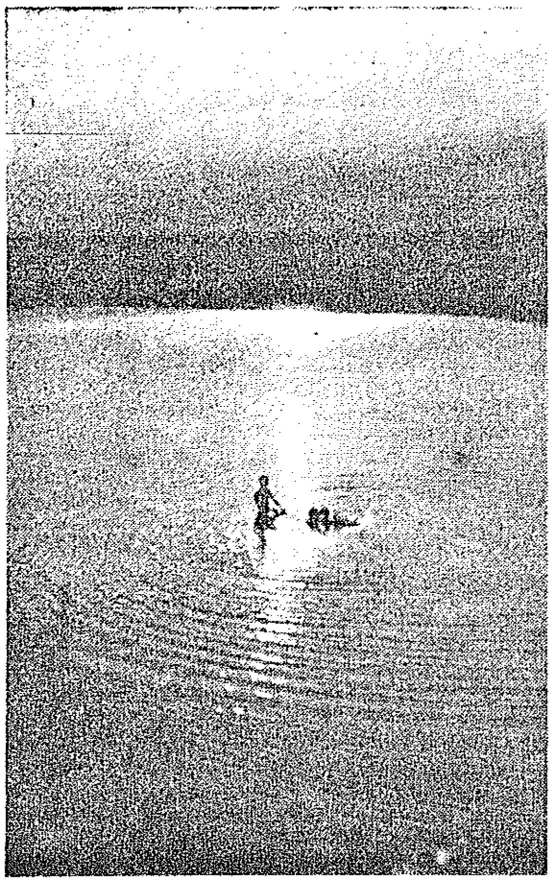
	戸数	人口
本庁	5,837戸	22,167人
三和	2,203戸	9,306人
領石	1,445戸	5,564人
岡豊	835戸	3,334人
十市	709戸	2,864人

水泳場を奪われる
北部の児童生徒千人が

市の北部を流れる領石、国分両川の流域に住む子供たちは、川で水泳できなくなり市教委と父兄たちは対策に頭を痛めプールの建設計画が持ち上がっている。

市の北部には両川を中心として、きれいな川が比較的多いため流域の久礼田小・中、岡豊小・中、国分小、長岡小、鳶ケ池中はいずれもプールをつくらず、各校下とも川に築造された井セキで水がゆるやかになった場所を水泳場に当て、市教委の監視人配置もあって安心して水泳を楽しむことができていた。

ところが、今春国分川上流の香美郡土佐山田町新改に四国電力の発電所が完成し、ほかの川から引いて発電に使った水を放水するようになって水量がまし、井セキは深く水没して流れが急になってしまった。また国分川支流の領石川は上流で石灰石の採掘が始まったのと、国道改修工事で到るところの山が堀り取られ、降雨のたびにそれぞれの現場から汚水が流れ込み、両川はいっも濁っているため、危険防止と衛生上から少なくとも千人以上の児童・生徒が水泳場を奪われたもので、一部の児童・生徒たちは欲求を押えることができず一応、安全と見込みを付けた場所で危険にさらされながら泳いでいる。市教委は両川が水泳に向かないと学校と父兄に通達し、やむなく泳ぐ場合はじゅうぶん気を付けるように呼びかけ、関係地区から陳情のあったプール建設につき検討を始めている。



暮色　国分川辺にて

第一回市体育大会

県大会代表決定
七百余人が参加

晴の県大会への代表決る。市の体育協会、市教委、市中体連主催の、第一回南国市体育大会は、七月二十一日と二十八日の二日間香長中学校を主会場として附近の会場で、水泳、陸上など八種目にわたって、はなばなしく開催された。

この大会は、来る十月五、六日と行なわれる高知県体育大会の予選を兼ねて行なったもので、各種目の優勝者は、市の代表として、県体育大会に出場するわけである。成績は次の通り。

〔卓球〕中学‖①中山泰夫②谷田豊③川野上佳近▽高校‖①塩井敏夫②新川修③石川済▽青年‖①田内清②竹村直上③小鹿正博▽一般‖①梶田容秀②島中一③川島速雄

〔バレー〕一般男子‖①鈴江農機②協和農機③市役所▽同女子‖①市役所▽青年‖①三和②前浜▽高校‖①高知農高▽中学男子‖①香長②香南

〔ソフトボール〕青年‖①岡豊②鈴江▽一般‖①久礼田②鈴江

〔柔道〕団体‖①鈴江農機②三和柔道学級▽個人有段者‖①葛目弘②上居元昭▽同段外‖①徳久哲夫②前田満雄▽中学校‖①名倉澄夫②溝渕純介

〔剣道〕一般個人‖①河野功②浜田安雄③末政則幸▽同中学‖①坂本祐三②福永高久③末政隆一▽団体青年‖①協和農機②鈴江農機

〔水泳〕百・自由・一般‖①浜田成富▽中学‖①高村恒康▽同・背・一般‖①野村正巳②武市啓志③岩川尚志▽同バタフライ‖①武市啓志

〔トラック競技〕百・中学A‖①吉川伸一②村田真明③塩井学▽青年‖①野口毅義②氏次五郎③木村弘▽高校‖①森頴造▽中学女子‖坂野あつ子②浜口和子③元吉礼子▽高校女子①田内米子▽千五百・高校‖①山本哲②西山弘一③中沢信幸▽四百・青年‖①野口毅義▽同・高校‖①魚沢新弥②正岡喜秋③山本潔▽二千・中学‖①山本丁三②岡本守雄

③内田健一郎▽六〇・中学女子‖①沢田千枝子②上居峯子③小松博子▽五千・高校‖①有岡正幹②山本哲③浜田博司▽二百・中学男子‖①吉川伸一②神田二三夫③村田真明▽同・高校女子‖①大野明美②田内米子

〔四百リレー〕中学女子‖①香長②香南▽高校同‖①高知農高

〔八百リレー〕青年‖①鈴江▽高校‖①高知農高②東工高▽中学‖①香長

〔フィールド競技〕走りはばとび―中学・男子‖①浜口正志②小松俊夫③吉川伸一▽同・女子‖①土居峯子②沢田千枝子③利岡禎子▽高校‖①森木清敏②山崎豊▽青年‖①横山亨▽一般‖①吉田正信

〔走り高とび〕中学・女子‖①森木喜美②北村由里③小久万房子▽同・男子‖①小松俊雄②中沢清市▽高校・女子‖①福谷護▽同・男子‖①沖勝②西岡正泰③蛭子良介▽青年‖①山崎武史②木村弘③前田和耕▽一般‖①野中俊郎

〔砲丸投げ〕中学・男子‖①森田雅翁②八松盛▽同女子‖①井上暁美②大和田フミ③中村君枝▽高校‖①蛭子良介②三本晴伸③下元健蔵▽青年‖①横山亨

〔円盤投げ〕一般・女子‖①北村日子▽男子・高校‖①三本晴伸②中西末喜▽一般‖①田内茂夫②西岡春水▽青年‖①横山芳亨

〔三段とび〕高校‖①森木清敏②蛭子良介

〔槍投げ〕高校‖①島崎雄一②魚沢新弥③黒岩直洋

〔相撲〕団体‖①鳶ケ池中②香長中B③香長中A▽個人学年一位‖川淵実利（一年）藤戸忠茂（二年）井上敏夫（三年）‖写真はバレーボール三和と高豊の熱戦‖

ママ・ポリス着任
六十四人の志望者の中から

青少年の補導に当たる市民待望の〝ママ・ポリス〟が先月、南国署に着任した。谷本美恵子さん（三〇）＝写真＝がその人。

試験で選抜された四人のうちの一人である。温厚な人柄だが、実に明快に意見を述べ〝これならたよれる〟という気持ちを起こさせる。

さる二十七年、佐川高校を卒業。高知女子専門学園にも学んだ。その後、高知市役所に勤務したが「活動的で、家庭へはいってからも、一生やれる仕事」を見出したいーと考えていたという。

それで、ことしになって県警のママ・ポリス募集のポスターを見てーいい意味で一飛びついたわけ。

そして周囲を見回わし、青少年問題に対処するには、婦人ならではの面があることをしみじみ考え、任務のため一生を打ち込む気持ちを固めた。

採用されてから二カ月間は、必要な法律を勉強しながら、実務でみがきをかけた。

谷本さんの話の中に「それぞれの事例は、それぞれ違う判断によって処置しなくてはいけない」ということがあったが、これはその人柄と高い知性で、適切な処置がなされるはずで、今後わたしたちは、谷本さんを大いに〝利用〟することにしよう。

前浜で墓地を移転
同和対策　跡地に隣保館など建設

市は同和事業の一つとして、明年度中に前浜の墓地を整理し、跡地に各種の施設を建設する予定。

同地区の東組、下島浜、浜窪の三カ所には、人家の周辺に計千五百基の墓地があって、環境がきわめてよくない。このため四百二十万円を投じ、一カ所に移転することになったもので、移転地（面積二十アール余）は同地区ですでに買収済み。

跡地には隣保館、共同作業所、児童遊園地を建設する予定だが、今後、市同和対策審議会によって具体化される。

事故多発地で
にらみきかす

市役所付近から隣村大津村西部に達する国道は、市民のおそれる交通事故の多発地である。

このため南国署、交安協会南国支部はこのほど市と接する大津村長崎の国道ぶちに写真のような交通検問所を建設した。

工費六万円を投じた鉄筋コンクリートづくりのモダンなもので、中に本署と連絡できる電話もあり、警官が毎日のように詰めていて、指導のかたわら取締まりを強化し、市民の交通安全を図るという。

中卒就職生に
手紙を送ろう

このほど長岡西部公民館で、こども会指導者会を開き、今後のこども会の発展、特に今月は夏休みにおける学習と遊びについて適切な助言を行なうとともに、こどもをして、県外に就職し、なれない職場でややもするとホームシックに悩んでいるであろう先輩に、故郷の香りゆたかな手紙、文集などを送り慰問と激励をし、就職生の発奮と定着をさすためのこども会活動の一環として実行することを呼びかけようとするもの。

一般市民からもこの計画に参加協力して下さる様働きかけることを申し合せた。

文部省委嘱

十市 田村 に婦人学級

かねて地区の婦人たちから希望していた。文部省委嘱の婦人学級として、このほど正式に決まり。十市、田村、西部の二つの婦人学級がそれぞれ指定され、開講の準備を進めている。

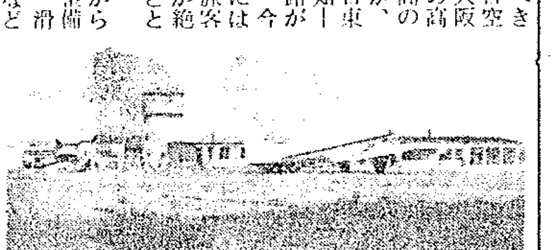
このうち十市婦人学級（学級長細川喜久猪さん）では、百七十人の学級生をようしている大きなもので、九月から、明年二月末まで開講するテーマーは、「健康で明るく豊かな家庭をつくる」

なお、田村西部は十月から二月末までの間開設される。

名実ともに空の玄関
空路ふえ、整備図る

南国市の誇りともいうべき日章の高知空港は、全日空の高知ー大阪東亜航空の高知ー愛媛間の空路のほか、こんどは日東航空の高知ー徳島間空路が開設され、今後同空港には発着する旅客機の爆音が絶えないこととなる。

また八月から工費六千万円を投じる整備工事が行なわれており、滑走路の幅六十㍍となるなど今秋までに面目を一新する。



整備間近かの高知空港

災害は忘れられた頃にくるといわれている。ついせんだっての台風九号は、そのことばがぴったりといえるようである。災害県といわれながらも、ここ十数年は災害らしい災害はなかったが、悠然として去った台風九号のもたらした爪あとはそれだけきびしいものがある。▼県下における災害は百八億円余りであると発表された。むかしとちがって台風の進路、その規模などがあらかじめ通報されていてもこの通りである。自然の力はよほどのものでないと防ぎ切れないものだろうか……▼まして二十数年を経てなお改修中であるという四万十川の堤防工事などのように、遅々として進まない工事……やれオリンピック道路とか夢の超特急とか、中央に近いところの諸施設に対する工事費はどしどし出され、しかも昼夜兼行の突貫工事が行なわれているものもあるという。▼中央に近いということでなにもかも優先するということは実におかしいことだ。せっかく二十数年費いやしてでき上がりつつある堤防が、しかも、でき上がっていた所（高さ六十㍍、巾六十五㍍）が、およそ百㍍にわたり完全に破壊されていたという。▼その人の話によれば舗装道路のコンクリートがはがれ、完全に裏がへしにされたり、いたるところで交通が寸断されたり二十数戸の部落が流失、倒壊でわずか二戸しかのこっていないなど実にものすごい有様であった。しかし、死亡など人的損害の少なかったのは不幸中の幸いと驚いていた。▼ともかく自然の猛威をまざまざとみせつけた台風九号の、残こしていった教訓は忘れてはなるまい。